

- ◆企画名 KU サポーターズ春季自主研修合宿
日 程 平成 24 年 2 月 27 日 (月) ～2 月 29 日 (水)
場 所 高槻キャンパス 高岳館
参加者数 15 名 (ピア・サポータ 13 名、職員 2 名)
目 的

新年度の活動に向けた体制作りのため、スキルアップのトレーニングやミーティングを行うことを目的とする。

トレーニングは、主要業務である相談業務のトレーニングはもちろんのこと、ミーティングの場においてよりクリエイティブなアイデアを出すためのトレーニングなども行う。

ミーティングのメインのテーマは 2 つ。1 つ目は、KU サポーターズの方針を再確認し、ほっこり相談室を含めた企画の目的を明らかにすること。2 つ目は、2012 年度の年間計画を立てることである。

内 容

- ・ KU サポーターズの活動に関するミーティング
- ・ これまでのほっこり相談室来談者のケース検討および相談業務のトレーニング
- ・ メンバー間の親睦をはかるゲーム企画
- ・ リラクゼーションを目的としたボディーワーク
- ・ 相談を受けるにあたっての、自身の内面と向き合い、考えるワーク
- ・ アイデアを出しやすくするためのワーク
- ・ 感受性を高めるためのワーク
- ・ 温かい気持ちになれるワーク

感 想

一番の収穫は、ミーティングの場で来年度の活動の年間計画を立てるに当たり、活動の指針となる KU サポーターズの 5 つのモットーを決められたことであった。

5 つのモットーとして掲げられた

- ①直接的な対人交流を行う
- ②メンバー一人一人が利用者さんの居場所になれる
- ③利用者さんが大学生活の中で安心できるようになる
- ④利用者さんと気軽にコミュニケーションできる
- ⑤利用者さんがありのままの自分を認められるようになる

という 5 箇条は、今後のいかなる活動においても目的、意義を見失わないための指針となるであろう。

また、2 泊 3 日の合宿では一日中活動に関しての話し合いやトレーニングのために時間を割いてしまうと、メンバーの集中力も切れてしまう。そのような事態を防ぐため、適所で心身のリラクゼーションのための企画を実施したことは効果的であった。

合宿を通して、それぞれのワークごとに担当者を変えることで、多くのメンバーに企画、進行の経験をしてもらうことができた。自分で考えたワークをプレゼンすることで、メンバーの企画実行力も上昇させることができた。

改善点

ワークの担当者になったのは、ほとんどが上回生であった。次回合宿では、今後の組織を担っていく下回生にも担当を割り当て、経験を積んでもらうようにしていきたい。

また、ミーティングを行う前の準備として、議題や現在の問題点の整理が不十分であった。今後はより有意義なミーティングを行うために、事前の下準備は入念に行っていきたい。